

学校法人 河原学園 未来高等学校 R7年度年間指導計画

教科	外国語	科目	英語コミュニケーション I	学年	1年	単位数	3単位	
教科書	東京書籍 All Aboard! Communication I			副教材	なし			
レポート 添削指導	9通	スクーリング 面接指導	12回	メディア 視聴票	5通	試験	2回	
指導 目標	日常的・社会的な話題について、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して表現する。							
No	日付	レポート 提出日	単元	学習内容	面接 回数	メディア(NHK高校講座)		
1	4月12日	5月3日	Pre-Lesson 1 Pre-Lesson 2 Lesson 1 Lesson 2	動詞の過去形を用いた文の形・意味・用法を理解し、世界の朝食について学んだ事柄や好きな食べ物について、自分の考えや好みなどを整理する。 進行形〈be動詞+動詞の-ing形〉を用い、文の形・意味・用法を理解し、オーストラリアに生息する珍しい野生動物について、自分の考えや好みを表現する。	2	2回 Pre-Lesson 1 3回 Pre-Lesson 2/ Communication 1 4・5回 Lesson 1 6・7回 Lesson 2		
2	5月3日	5月17日	Lesson 3	助動詞can, willを用いた文の形・意味・用法を理解し、列車運転士の職業観の紹介やある場所への行き方とそこでできること、自分ができること・できないことについて、助動詞can, willを用いて、情報や考えを表現する。	1	8・9回 Lesson 3 10回 Communication 2		
3	5月17日	5月31日	Lesson 4	to不定詞〈to+動詞の原形〉を用いた文の形・意味・用法。ウユニ塩原でやりたいこと、行ってみたい場所ややりたいことについて、to不定詞〈to+動詞の原形〉を用いて、情報や考え、気持ちを表現する	1	11回 Lesson 4 12回 レッツトライ! 13・14回 Lesson 4 15回 レッツトライ! 16回 Extra Target 1		
4	5月31日	6月14日	Lesson 5	動名詞〈動詞の-ing形〉を用いた文の形・意味・用法。将来の夢や先週末に楽しんだことについて、動名詞〈動詞の-ing形〉を用いて、表現する。	1	17・18回 Lesson 5 19回 Let's Listen 2		
5	6月14日	6月28日	Lesson 6	受け身〈be動詞+過去分詞〉を用いた文の形・意味・用法。好きな絵の紹介とその理由について、受け身〈be動詞+過去分詞〉を用いて、情報や考え、気持ちを表現する。	1	21・22回 Lesson 6		
6	6月28日	10月18日	Lesson 7	比較表現〈-er〉〈the -est〉〈as+原級+as〉を用いた文の形・意味・用法。関心のある人物について自分で調べた事柄を表現する。	2	23・24回 Lesson 7		
7	10月18日	11月1日	Lesson 8	現在完了形〈have[has]+過去分詞〉を用いた文の形・意味・用法。また、ロボットカフェについて学んだり、ロボットについて自分で調べた事柄を整理する。	1	26・27回 Lesson 8 28回 Communication 3☑		
8	11月1日	11月15日	Lesson 9	「名詞を後ろから説明する分詞」が用いられた文の形・意味・用法。また、プラスチックごみによる環境汚染の問題について学んだり、プラスチックごみの問題について調べた事柄を整理する。	1	29～31回 Lesson 9		
9	11月15日	11月29日	Lesson 10	「関係代名詞who, whichを用いた文の形・意味・用法。また、第二次世界大戦によって疲弊した沖縄とハワイからの援助や、両地域の現在の交流について学んだり、海外の文化や社会を理解する手段について、自分で調べた事柄を整理する。	2	34～37回 Lesson 10		
【知識・技能】 各Lessonでのターゲットとなる文法を理解し、概要・要点を掴む。								
【思考力・判断力・表現力】 各Lessonで習得した語句や文法を使用し、論理性を持った表現ができる。								
【主体的に学習に取り組む態度】 各Lessonで学んだ文法や語句を使用し、自分の考えや自分の将来について表現する。								
○上記の評価規準に基づき、レポート及び課題等の提出物の状況、スクーリングに取り組む姿勢及びスクーリングに基づく成果、前期・後期2回の試験結果を総合的に判断して、評価を行う。								
○【知識・技能】【思考力・判断力・表現力】【主体的に学習に取り組む態度】の3つの観点ごとに、それぞれ上位からA、B、Cの三段階で評価を行い、その観点別評価に基づき、総合的な評価を5段階（最上位を5とし、最下位を1とする）で評価する。								
単位の修得の認定に関する基準								
観点別評価に基づいて総合的に評価された5段階評価のうち、5～2の評価を受けた者に対して、科目に配当された単位数の修得を認める。								